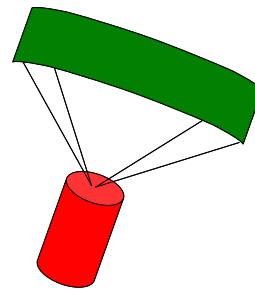


Fukuoka CanSat ComeBack Competition



コンペ概要

高度約 100m に係留された気球より放出された CanSat が、原則として緯度経度情報のみが示された目標地点に帰還、その精度を競うコンペティションです。CanSat は、GPS 等のセンサやパラフォイル等のアクチュエータを用いて、自律的に目標地点を目指します。

コンペ関連情報

日程：2004 年 12 月 13 日 (月) (雨天強風時は中止)

時間：AM 9 : 00 ~ AM 12 : 00 (表彰式、会場片付け含む)

場所：福岡県福岡市西区元岡田園地

(市営地下鉄姪浜駅 JR 筑肥線周船寺駅 車 10 分もしくは徒歩 30 分)

JR 今宿駅から会場までは車にて見学者の方を移動させていただきます。

大会運営上の都合により見学者人数は上限 (約 20 名) があります。

係留気球の高度は最高 100m までとし、当日の天候状況によってはこれより下げることがあります。

CanSat は、パラフォイル等により滑空して着地しますが、時として自由落下してくる可能性があります。したがって、観客の方は、決められた見学ゾーン内から見学し、CanSat 放出から着地までは常に上空に気を配ることを心がけてください。なお、競技に伴う不慮の事故に関して大会運営者は一切責任を負いかねることをご了承ください。

当日見学を希望される方は、以下のところまでご連絡ください (12 日 21 時まで受付)

(河村) kawamura@aero.kyushu-u.ac.jp

参加チーム (全 5 団体 7 機)

日本大学 (オープンクラス、1 機)

東京工業大学 (オープンクラス、2 機)

香川大学 (500g クラス、1 機)

JAXA 現場主義チーム (オープンクラス、2 機)

九大学生団体 PLANET-Q (500g クラス、1 機)